

❁ KAWA CHORD 2 ❁

the Flare of Chords.

Midi Velocity : 100						KAWAII					
Oct: 0	Vel: 100		△7		Add9		Add13				
C	Maj		7		△7Add9		△7Add13				
Key : C	Normal		m△7		7Add9		7Add13				
	Maj		m7		Add9 ⁻		Add13 ⁻				
	min		△7sus4		△7Add9 ⁻		△7Add13 ⁻				
	aug		7sus4		7Add9 ⁻		7Add13 ⁻				
	dim		△7 ^b 5		mAdd9		mAdd13				
Tonic				SubDominant		Dominant					Leading tone
#1 C Root P1	C#	D	D#	E M3	F	F#	G P5	G#	A	A#	B

目次

1. インストール方法 (Windows)	3
1.1 VST3 プラグインのインストール方法	3
Windows 64bit	3
Windows 32bit	3
1.2 VST2.4 プラグインのインストール方法	3
Windows 64bit	3
Windows 32bit	3
2. インストール方法 (Mac OSX)	4
2.1 VST2.4 プラグインのインストール方法	4
2.2 VST3 プラグインのインストール方法	4
2.3 Audio Unit プラグインのインストール	4
3. アクティベーション方法	5
3.1 プラグインキーを生成する。	5
3.2 プラグインキーを kawa.works アカウントに登録する。	5
3.3 ライセンスキーをダウンロードする。	6
3.4 ライセンスキーをプラグインに登録する	6
4. クイックスタート Studio One 3	7
4.1 kawaChord 2 を読み込む	7
4.2 MIDI ノートの出力チャンネルの設定をする	7
4.3 MIDI アイテムとして配置する	8
5. クイックスタート BitWig Studio	9
5.1 kawaChord 2 を読み込む	9
5.2 使用したいソフトウェアシンセサイザーを読み込む。	9
5.3 MIDI アイテムとして配置する	10
6. クイックスタート Reaper 5	11
6.1 kawaChord 2 を読み込む	11
6.2 使用したいソフトウェアシンセサイザーを読み込む。	11
6.3 MIDI アイテムとして配置する	12
7. クイックスタート Logic	13
7.1 kawaChord 2 を読み込む	13
7.2 MIDI アイテムとして配置する	14
8. 基本操作	16
9. 4 つのエディットモード	17
9.1 標準モード	17
9.2 五度圏モード	18
9.3 分析モード 1	18
9.4 分析モード 2	19
10. 修飾キーの変更について	20
11. アンインストールについて	20
12. 謝辞	21
12.1 JUCE Indie License	21
12.2 VST3 "Proprietary Steinberg VST3" license	21
12.3 Audio Units Plugins	21
13. Author	21
13.1 Programming and Design	21

1. インストール方法 (Windows)

kawaChord2 は 専用のインストローラーを準備していません。自分でプラグインを VST プラグインフォルダに移動する必要があります。

1.1 VST3 プラグインのインストール方法

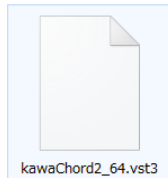
Windows 64bit

kawaChord2_64.vst3 (Free 版は **kawaChord2_Free_64.vst3**) を
C:\Program Files\Common Files\VST3\kawaChord2_64.vst3 へ移動します。

Windows 32bit

kawaChord2_32.vst3 (Free 版は **kawaChord2_Free_32.vst3**) を
C:\Program Files (x86)\Common Files\VST3\kawaChord2_64.vst3 へコピーします。

※ 32bit 版 WindowsOS を使用している場合、C:\Program Files\Common Files\VST3\kawaChord2_64.vst3 へ移動します。



Move To "VST3" Folder

1.2 VST2.4 プラグインのインストール方法

Windows 64bit

kawaChord2_vst2_64.dll (Free 版は **kawaChord2_vst2_Free_64.dll**) を 使用する DAW で設定された VST プラグインフォルダへ移動します。

Windows 32bit

kawaChord2_vst2_Free_32.dll (Free 版は **kawaChord2_vst2_Free_32.dll**) を 使用する DAW で設定された VST プラグインフォルダへ移動します。

※ DAW によってインストールするフォルダは異なります。通常は C:\Program Files (x86)\VSTPlugins があります。

2. インストール方法 (Mac OSX)

kawaChord2 は 専用のインストーラーを準備していません。自分でプラグインを VST プラグインフォルダに移動する必要があります。

2.1 VST2.4 プラグインのインストール方法

kawaChord2-MacOSX.vst (Free 版は **kawaChord2-MacOSX-Free.vst**) を
~/Library/Audio/Plug-Ins/VST フォルダ_へコピーします。
 (または、Macintosh HD/Library/Audio/Plug-Ins/VST) フォルダ

2.2 VST3 プラグインのインストール方法

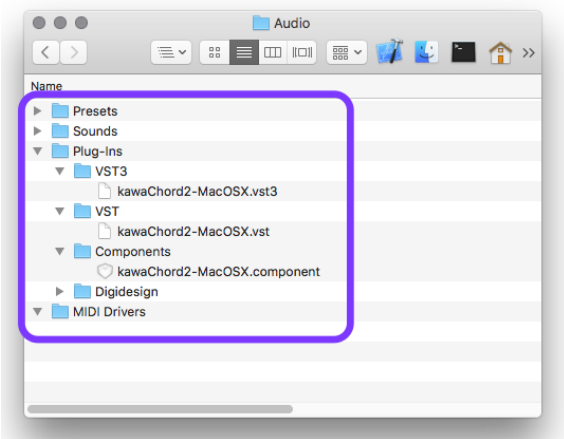
kawaChord2-MacOSX.vst3 (Free 版は **kawaChord2-MacOSX.vst3**) を
~/Library/Audio/Plug-Ins/VST3 フォルダ_へコピーします。
 (または、Macintosh HD/Library/Audio/Plug-Ins/VST3) フォルダ

※ 日本語環境では **Library** フォルダが **ライブラリ**と表示されるようです。

※ ライブラリ(library)フォルダをホームフォルダに表示する方法は、**オプションキー**を押しながら、メニューバーの**移動ボタンを押す**と出てきます

2.3 Audio Unit プラグインのインストール

kawaChord2-MacOSX.component (Free 版は **kawaChord2-MacOSX-Free.component**) を
~/Library/Audio/Plug-Ins/Component フォルダ_へコピーします。
 (または、Macintosh HD/Library/Audio/Plug-Ins/Component) フォルダ



(左図)

~/Library/Audio/Plug-Ins
 フォルダに インストールしたところ

3. アクティベーション方法

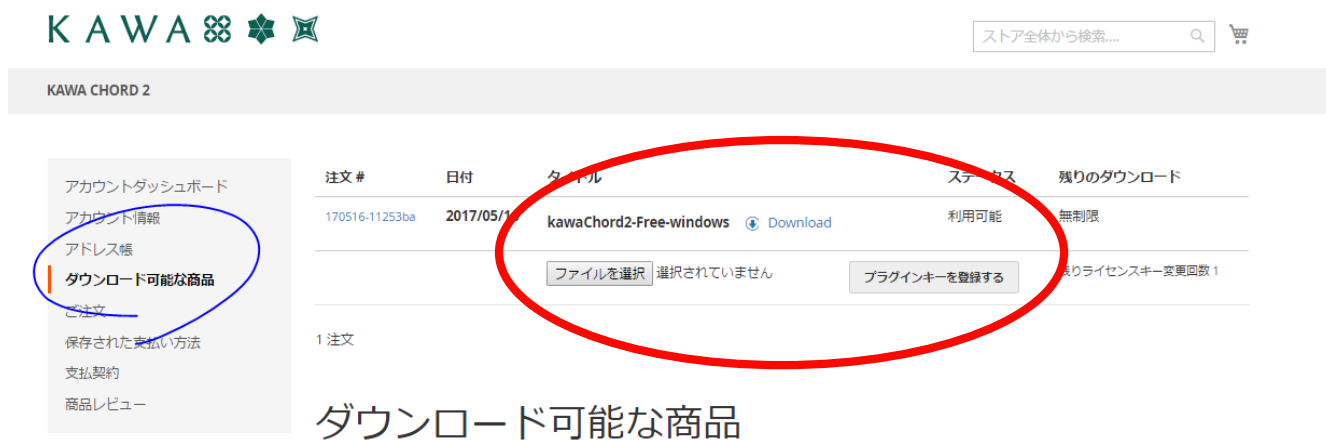
KawaChord を使用するためにはライセンスアクティベーションする必要があります。アクティベーションの方法について説明します。

3.1 プラグインキーを生成する。



kawaChord を初めて起動するとライセンスアクティベーションを促されます。左側のプラグインキーを生成ボタンを押してプラグインキーを生成します。

3.2 プラグインキーを kawa.works アカウントに登録する。



kawa.works アカウントの「ダウンロード可能な商品」タブへ移動するとプラグインのアクティベーションができます。ここで、1で生成したプラグインキーを登録します。

3.3 ライセンスキーをダウンロードする。

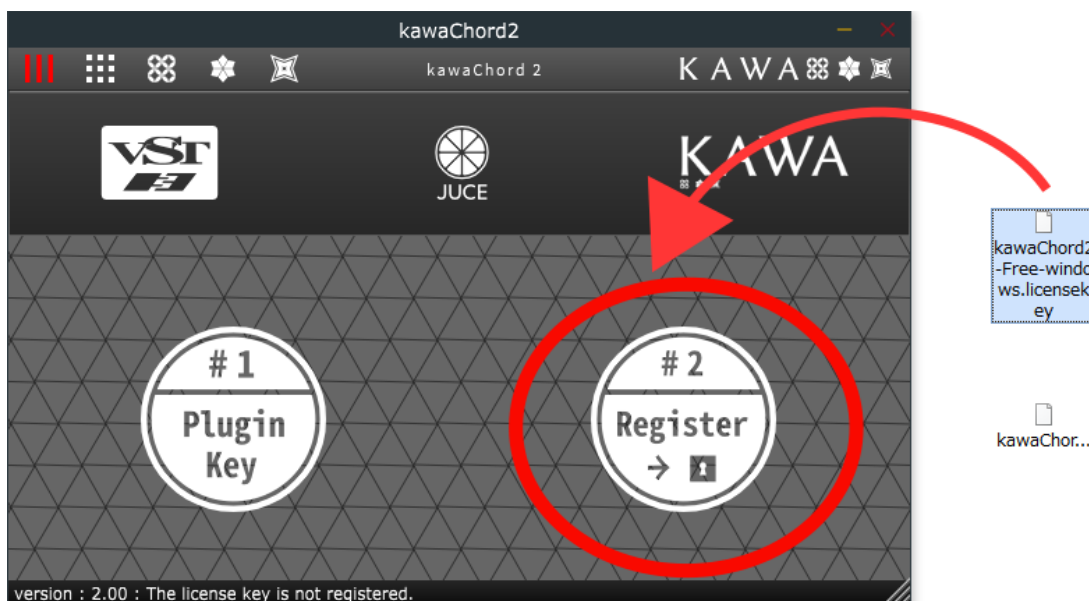
注文 #	日付	タイトル	ステータス	残りのダウンロード
170516-11253ba	2017/05/16	kawaChord2-Free-windows Download	利用可能	無制限

[📄 ライセンスキーをダウンロードする](#)
残りライセンスキー変更回数 0

1 注文

正しいプラグインキーであれば登録が完了し、ライセンスキーがダウンロード可能になります。

3.4 ライセンスキーをプラグインに登録する



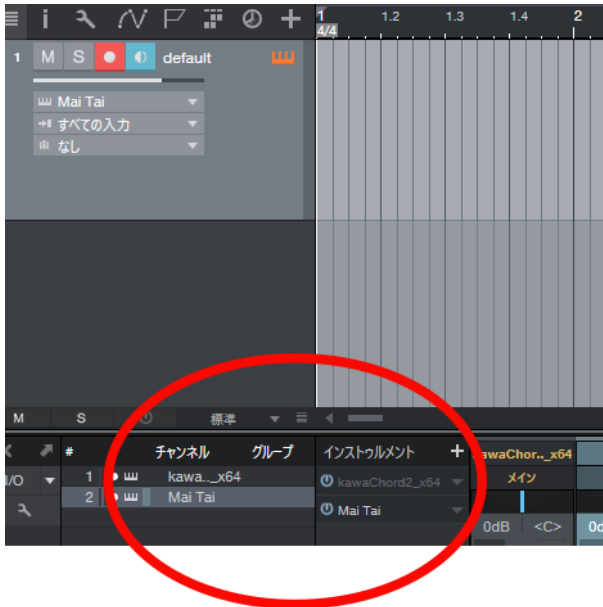
ダウンロードしたライセンスキーを右側の「登録ボタン」を使ってプラグインへ登録します。登録が完了するとアクティベーションが完了し使用することができます。

- VST2.4 プラグイン、VST3 プラグインそれぞれアクティベーションが必要ですが、同じライセンスキーを使用することができます。
- 商用版とフリー版を一緒にインストールすると使用する DAW によってどちらか片方しか認識されない場合があります。商用版を使用する場合はフリー版を別の場所に移す、または削除してインストールをお試しください。
- ライセンスアクティベーションの際、".licensekey" と ".pluginKey" と名前が似ていて間違えやすいのでご注意ください。

4. クイックスタート Studio One 3

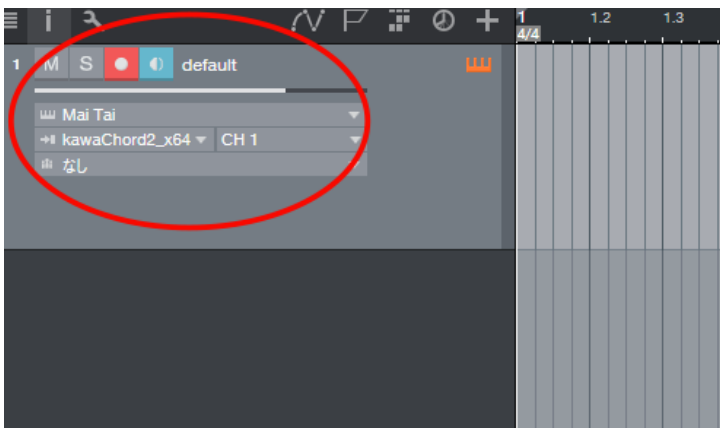
使い方を [StudiOne](#) で説明します。

4.1 kawaChord 2 を読み込む



[画像] kawaChord2 と StudioOne 純正の MaiTai シンセサイザーを読み込んだ様子

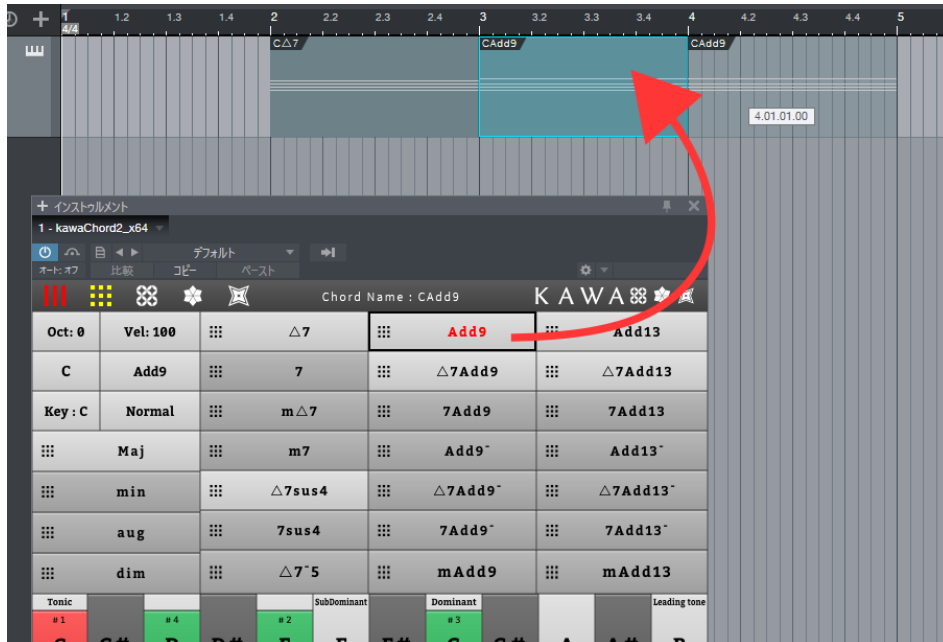
4.2 MIDI ノートの出力チャンネルの設定をする



MaiTai シンセサイザーのトラックの MIDI 入力に kawaChord2 を選択します。これで kawaChord2 プラグインからの MIDI 出力が割り当てられ、kawaChord2 のコードネームボタンを押すと MaiTai シンセサイザから出力されます。

4.3 MIDI アイテムとして配置する

kawaChord2 に設定された「修飾キー 1」を押しながら StudioOne のトラックヘドラッグドロップすると MIDI アイテムとして配置することができます。修飾キーの設定は「[修飾キーの変更について](#)」をご参照ください。



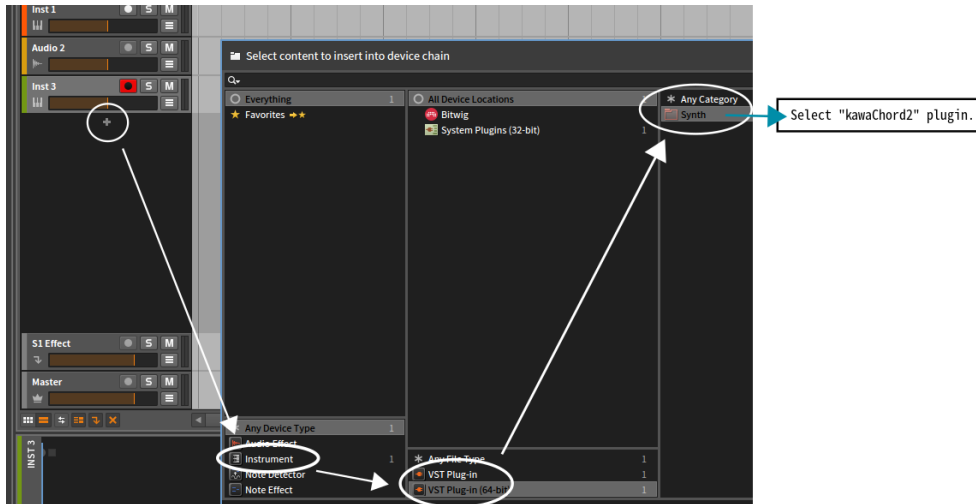
※ DAW へ直接配置できるのは StudioOne、Reaper、Bitwig Studio , Logic の 3 種を確認しています。



5. クイックスタート BitWig Studio

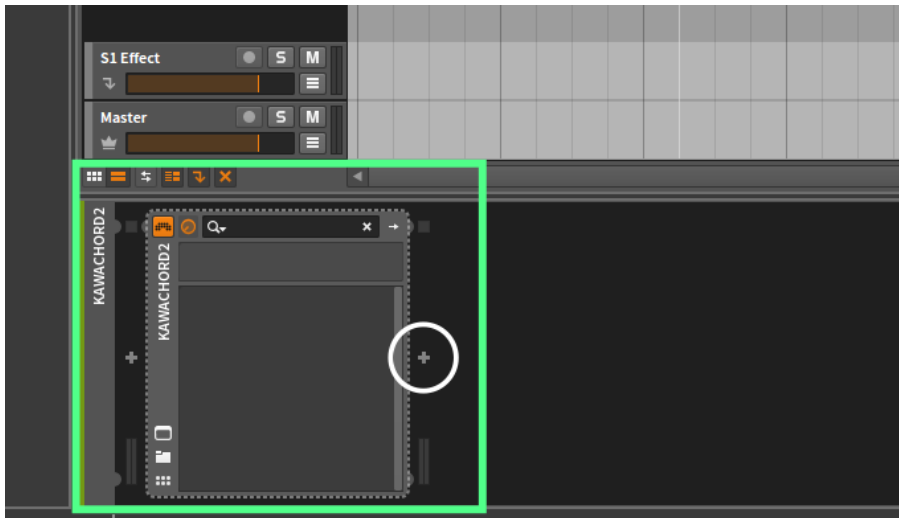
使い方を BitWig Studio で説明します。

5.1 kawaChord 2 を読み込む



トラックの下にある "+" ボタンを押して "kawaChord2" を選択しプラグインを読み込みます。

5.2 使用したいソフトウェアシンセサイザーを読み込む。



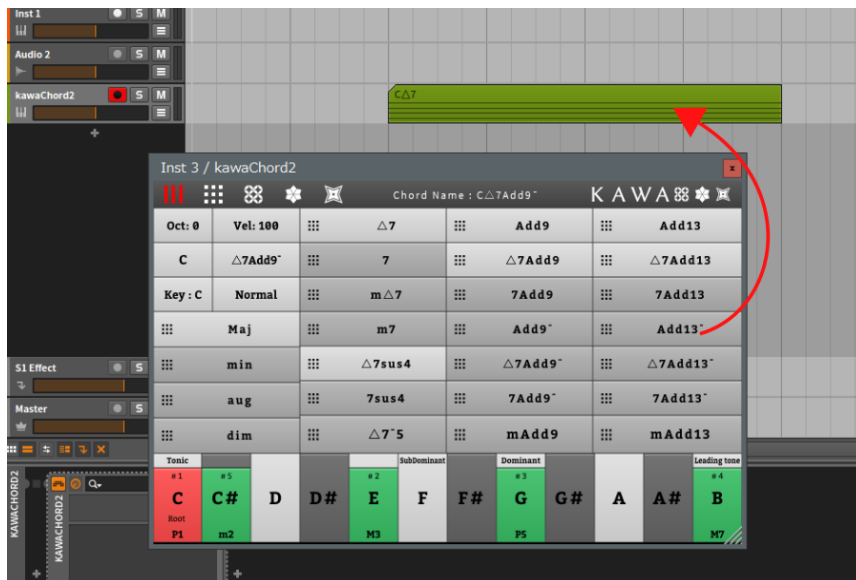
kawaChord2 の右側にある "+" を押して MIDI ノートの出力先として使いたいインストゥルメントを選択します。
MIDI ノートの出力先に BitWig FM4 シンセサイザーを設定した様子。



これで kawaChord2 のコードネームボタンを押すと FM4 シンセサイザーから音が出力することができます。

5.3 MIDI アイテムとして配置する

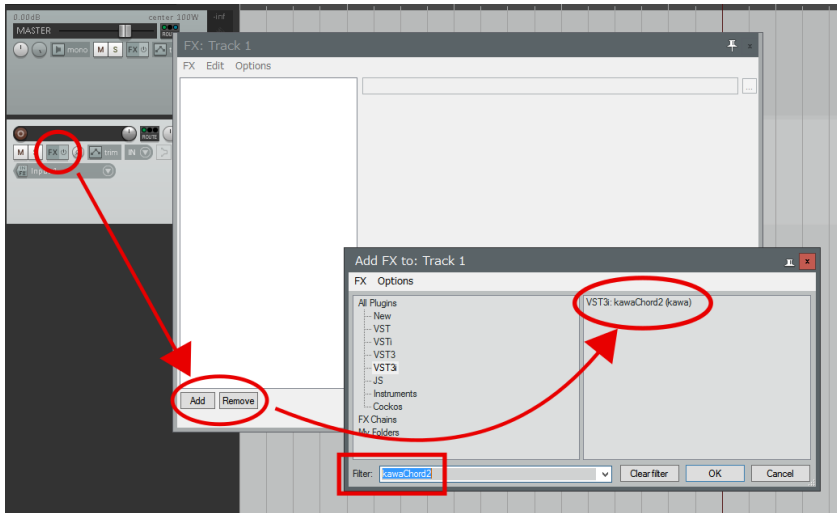
kawaChord2 に設定された「修飾キー 1」を押しながら トラックヘドドラッグドロップすると MIDI アイテムとして配置することができます。修飾キーの設定は「[修飾キーの変更について](#)」をご参照ください。



6. クイックスタート Reaper 5

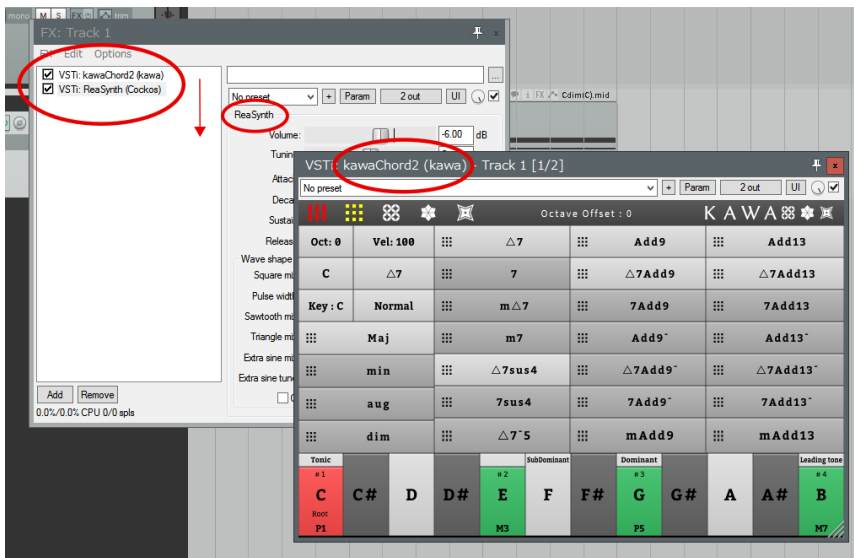
使い方を [Reaper](#) で説明します。

6.1 kawaChord 2 を読み込む



トラックを作成し、FX ボタン押しして kawaChord2 プラグインを読み込みます。

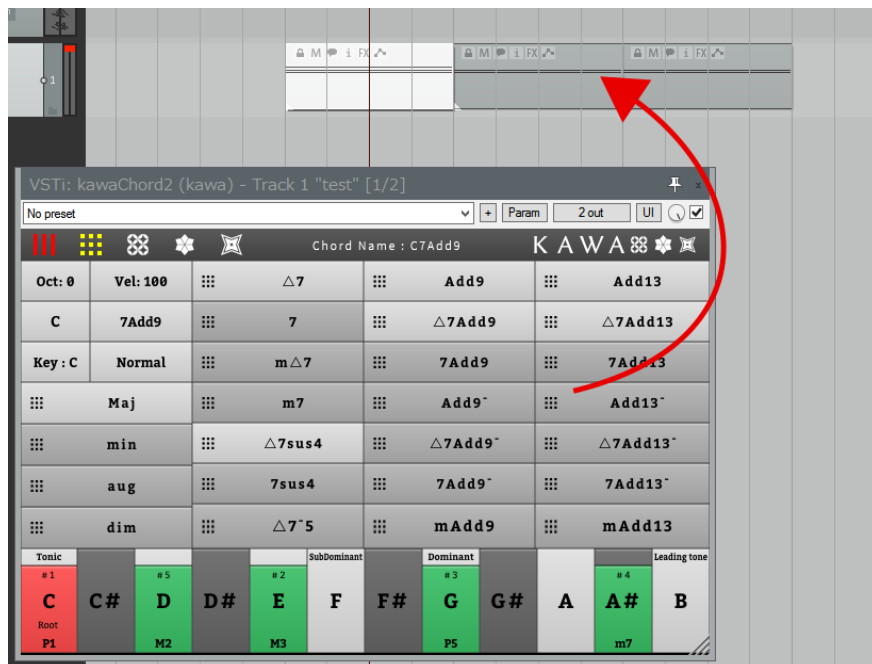
6.2 使用したいソフトウェアシンセサイザーを読み込む。



kawaChord2 の次に使用したいシンセサイザーを読み込みます。これで、kawaChord2 の出力した MIDI ノートを使いたいシンセサイザーが受信することができます。(逆の順番ではできません。)

6.3 MIDI アイテムとして配置する

kawaChord2 に設定された「修飾キー 1」を押しながら トラックヘドラッグドロップすると MIDI アイテムとして配置することができます。修飾キーの設定は「[修飾キーの変更について](#)」をご参照ください。



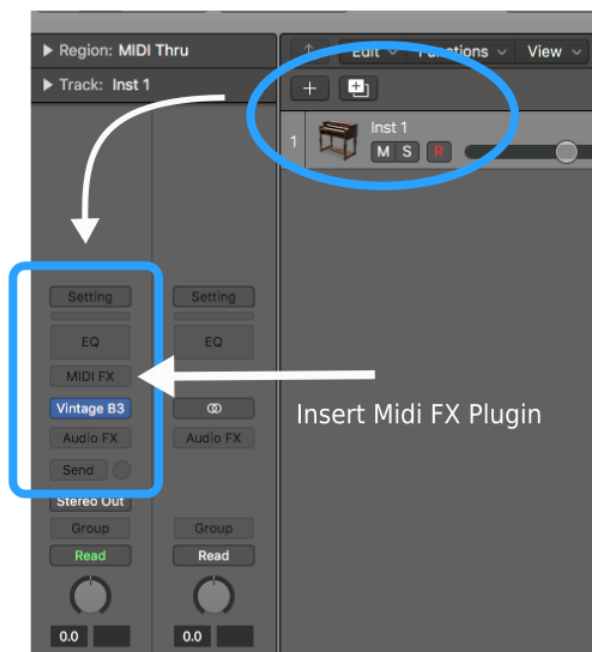
7. クイックスタート Logic

使い方を Logic で説明します。（ Mac OS X ）

7.1 kawaChord 2 を読み込む

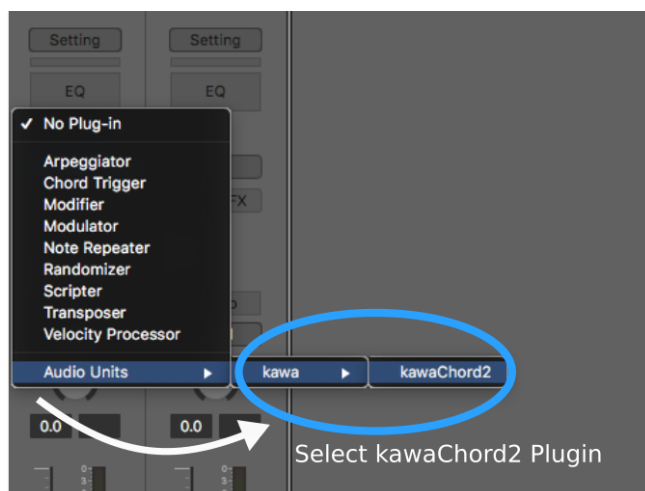
AudioUnit 版の kawaChord2 は **MIDI Effect Plugin** として動作します。この為、Logic ではソフトウェアシンセサイザーを追加して、そのトラックの MIDI FX に **kawaChord2** を読み込んで使用します。

※ MIDI Effect 形式の AudioUnit プラグインに対応している DAW は少ないので Logic 以外の Daw では VST プラグインを優先することをお勧めします。



（下図） kawaChord2 を選択しているところ

（下図）読み込みが完了したところ

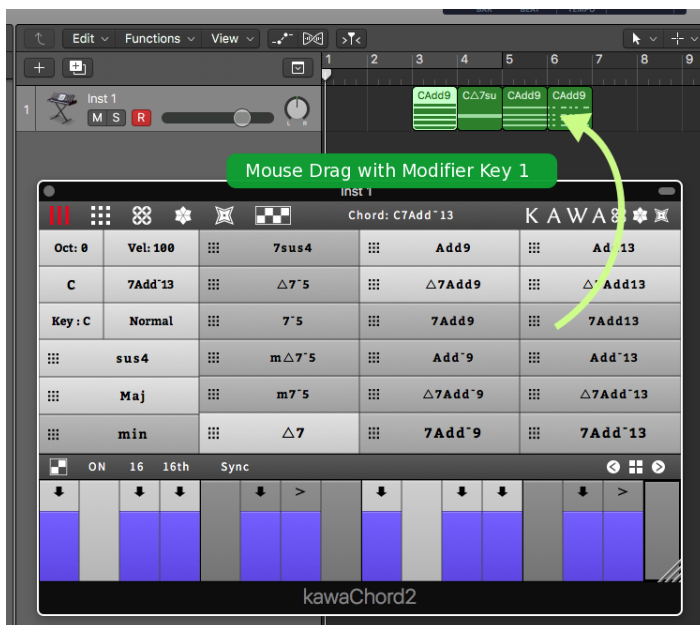




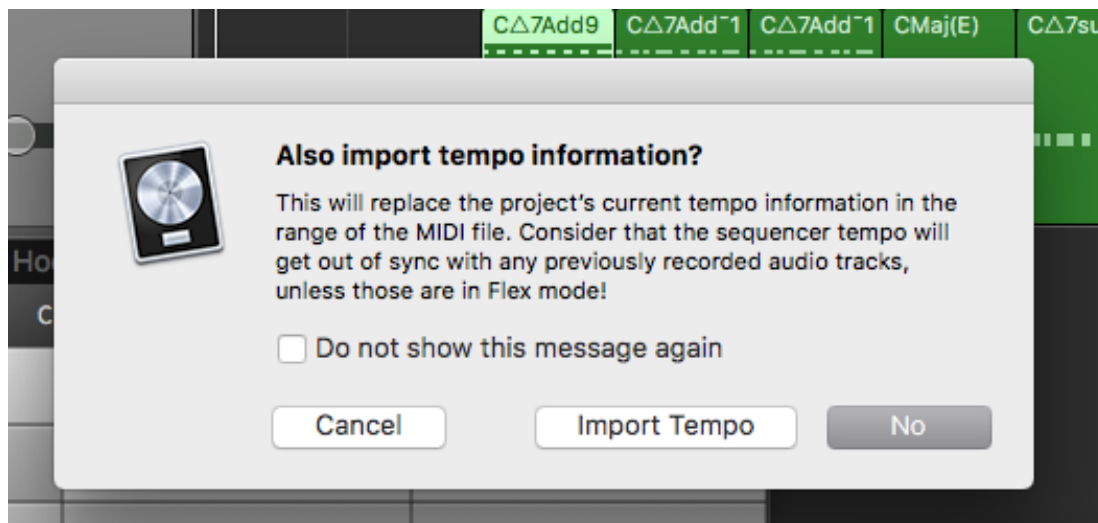
Logic 標準のソフトウェアシンセサイザーを使用する場合、一度、再生しないと「MIDI FX エフェクト」がアクティブにならない場合があります。読み込んだ後に音が再生されない場合、一度再生すると音が出ようになります。(現在、詳しく調べています。)

7.2 MIDI アイテムとして配置する

kawaChord2 に設定された「修飾キー 1」を押しながら StudioOne のトラックヘドラッグドロップすると MIDI アイテムとして配置することができます。修飾キーの設定は[「修飾キーの変更について」](#)をご参照ください。



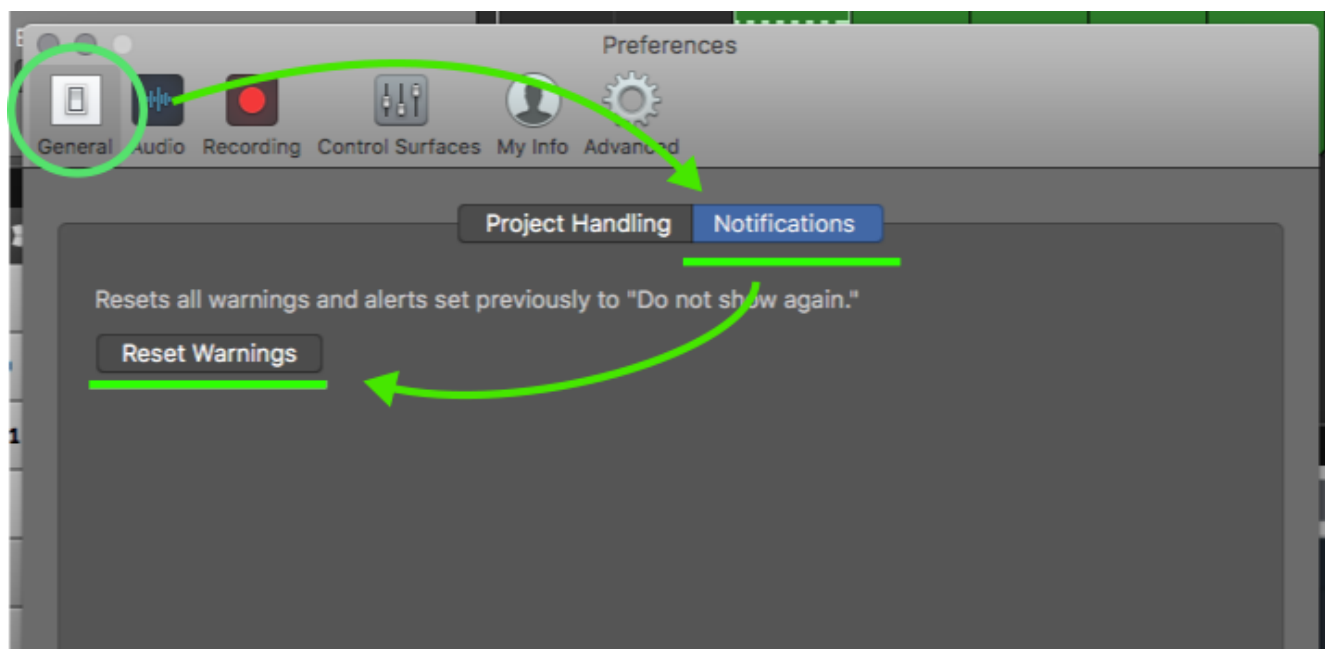
トラックヘドラッグドロップした時に設定によって、Tempo Map をインポートするかどうかのウィンドウが表示されます。表示しないように設定することもできますので、必要に応じて設定してください。



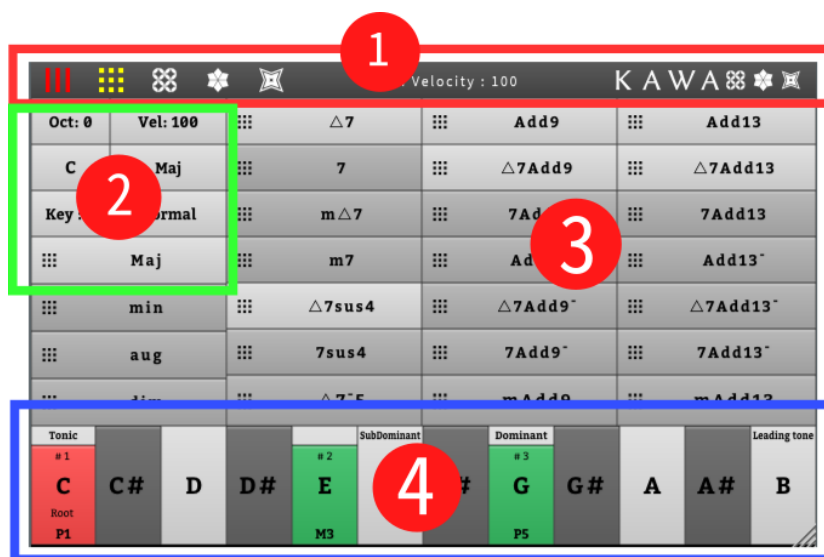
また、元の設定に戻したい時は

Preferences -> General -> Notification -> Reset Warnings

のボタンを押すと元に戻すことができます。



8. 基本操作



1 : モード選択エリア

現在の編集モードを切り替えます。左のボタンから

- * 日本語、英語の切り替え
- * 標準モード
- * 五度圏モード
- * 分析モード 1
- * 分析モード 2

へ切り替えます。一番左のロゴマークはアクティベーションの状態を表示します。

2 : 設定エリア

- Oct** : 出力するオクターブの変更
- Vel** : 出力 MIDI ベロシティの変更
- Ch** : 出力 MIDI チャンネルの変更
- ChordRoot** : 現在のコードルートの変更
- Key** : 現在のメインキーの変更
- Normal** : 転回形の設定

それぞれ左右クリック、マウスホイールで変更することができます。「Vel:」ボタンと「CH:」ボタンは右クリックで表示を CH と切り替えることができます。

3 : コードネームエリア

コードネームボタンを押すと設定された現在のコードルート、転回形の和音を MIDI ノートとして送信します。

Ctrl キーを押しながらコードネームボタンをドラッグすると MIDI ファイルを出力します。

4 : 音名エリア

現在のコードルート、コードネームの構成音を表示します。音名をクリックするとコードルートが変更することができます。

Tips

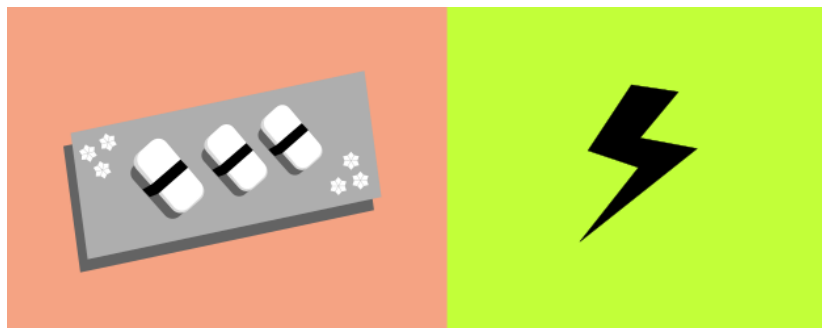
- コード名をクリックすると 和音として midi ノートを送信します。
- Ctrl キーを押しながらドラッグすると DAW へ Midi アイテムとして配置します。
- 選択されたコードルートとキーによって、ダイアトニックコードの背景が明るくなります。
- コードネームボタンを ALT キーを押しながらクリックすると 表示されるコードの種類が変わります。

9. 4 つのエディットモード

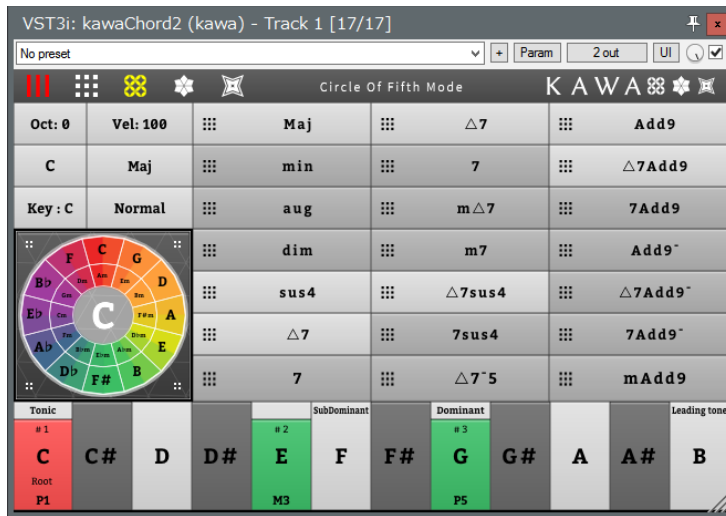
9.1 標準モード

Midi Velocity : 100					KAWA						
Oct: 0	Vel: 100	△7	Add9	Add13							
C	Maj	7	△7Add9	△7Add13							
Key : C	Normal	m△7	7Add9	7Add13							
Maj		m7	Add9 ⁺	Add13 ⁺							
min		△7sus4	△7Add9 ⁺	△7Add13 ⁺							
aug		7sus4	7Add9 ⁺	7Add13 ⁺							
dim		△7 ⁺ 5	mAdd9	mAdd13							
Tonic			SubDominant			Dominant			Leading tone		
#1	C#	D	D#	#2	F	F#	#3	G#	A	A#	B
Root											
P1											

基本的な編集モードです。コードネームボタンを押すことで和音を MIDI ノートとして送信します。Ctrl キーを押しながらドラッグすると MIDI アイテムを出力します。(Daw 上にクリップアイテムとして配置を確認できた host は Studio One, Reaper, BitWig Studio です。 ※それ以外の Daw は現在未検証です。)



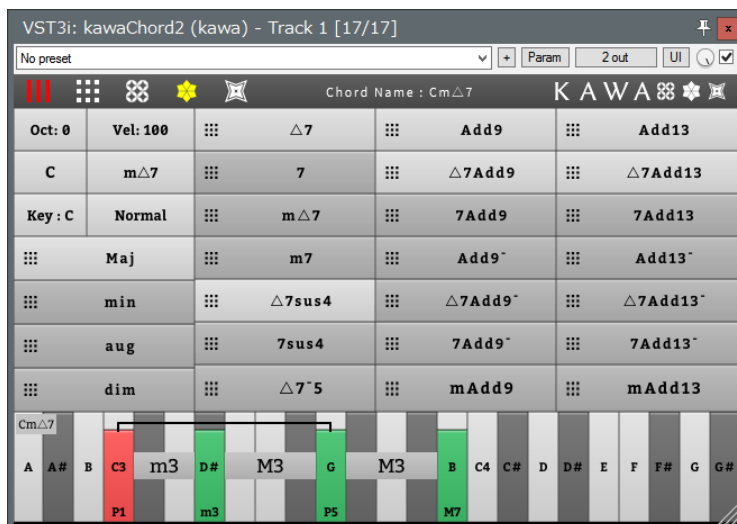
9.2 五度圏モード



Tips:





























- 五度圏の上でマウスホイールするとメインキーが変更されます。
- 五度圏上の音名をクリックするとコードルートが変わります。
- 五度圏の上で右クリックすると五度圏の配色が変更します。

9.3 分析モード 1



音名エリアがピアノロールに変更された画面。上側のかっちは「完全五度」の音程を、下側のかっちは完全8度を示しています。音名ピアノロール上でマウスホイールすると表示が右左シフトします。

9.4 分析モード 2

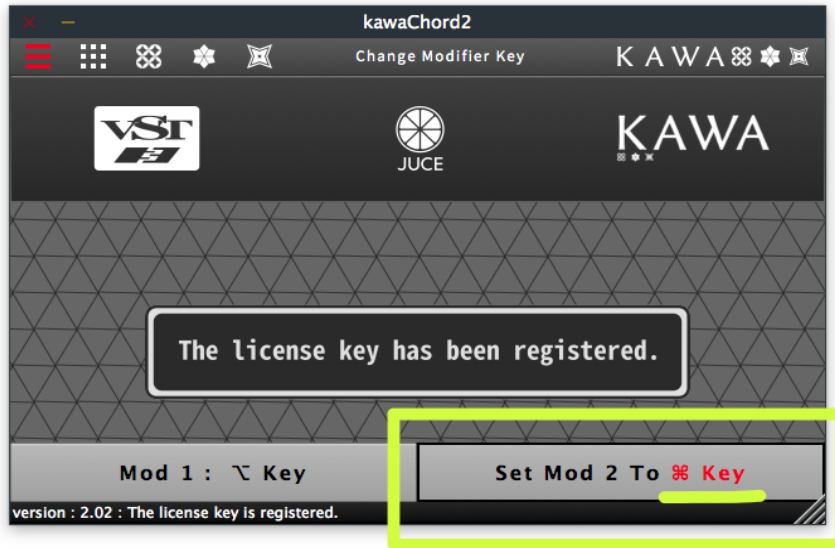
					Chord Name : CMaj				KAWA  											
Oct: 0	Vel: 100		△7		Add9		Add13													
C	Maj		7		△7Add9		△7Add13													
Key : C	Normal		m△7		7Add9		7Add13													
	Maj		m7		Add9 [~]		Add13 [~]													
	min		△7sus4		△7Add9 [~]		△7Add13 [~]													
	aug		7sus4		7Add9 [~]		7Add13 [~]													
CMaj																				
A	A#	B	C3	M3	E	m3	G	G#	A	A#	B	C4	C#	D	D#	E	F	F#	G	G#
			P1		M3		P5													
G7																				
A	A#	B	C3	C#	D	D#	E	F	F#	G	M3	B	m3	D	m3	F	F#	G	G#	
										P1		M3		P5		m7				

音名エリアがピアノロールが2段表示されたもの。上側のピアノロールは現在オンマウスにあるコードを、下側のピアノロールは一時的に保存されたコードを表示します。

※ 下側のピアノロールにコードを保存するには保存したいコードネームボタンの上で右クリックします。



10. 修飾キーの変更について



(Version 2.02 ~)

Mod 1 と **Mod 2** の上で設定したい修飾キーを押すと設定が更新されます。
(Mod1 と Mod2 で同じ修飾キーを設定しようとした場合、二つを入れ替えます。)

Mod 1 : ドラッグドロップに使う修飾キーです。
Mod 2 : コードネームの種類を変更するときに使用する修飾キーです。

11. アンインストールについて

アンインストールについて、kawaChord2 はレジストリデータを使用していません。プラグイン本体と作業用のデータフォルダを削除すればアンインストールが完了します。

作業用データフォルダの場所
windows 10 : C:\ProgramData\kawa\kawaChord
MacOSX : ~/Library/kawa

12. 謝辞

12.1 JUCE Indie License



WEB : <https://www.juce.com/>

12.2 VST3 "Proprietary Steinberg VST3" license



VST PlugIn Interface Technology by Steinberg Media Technologies GmbH.

WEB : <https://www.steinberg.net>

12.3 Audio Units Plugins

Audio Units logo™ is a trademark of Apple Inc.

13. Author

13.1 Programming and Design

Programming and Design by Kawa

WEB : <http://kawa.works>

Twitter : https://twitter.com/kawakawa_k